

市立幼稚園と市立保育所の再編

後期計画検討に向けた民間事業者のヒアリング結果

ヒアリング概要

実施法人：市内で就学前施設を運営する社会福祉法人及び学校法人(合計17法人)

実施期間：令和6年4月末～6月

主なヒアリング事項：今後の施設整備の予定、再編対象施設への参入意向、民間公募の際の実現性 等

主なご意見

◎就学前人口減少に伴う定員割れ、昨今の物価高、保育士の人材不足等、様々な要因を踏まえると、今後の積極的な事業展開は難しい

◎現在市が計画している認定こども園の施設数及び規模は過大ではないか。まずは既存園の活用を図るべき

◎民間事業者による再編としているエリアにおいて、民間事業者が手を挙げる可能性が低いエリアがある

◎今後開設が予定されている認定こども園の就園状況により、後期計画の全体像が変わってくる。もう少し長いスパンで状況を見極めるべき

◎公立ニーズと民間ニーズは異なり、公立支持層は公立を選択する。少なくとも各圏域に1つの公立施設は必要

◎セーフティーネット機能として、エリア・対象者を限定した公立のスクールバス運行は理解する

把握した課題

後期計画策定にあたり、現在の再編方針で予定する施設数に再編した場合、供給が過剰になる可能性がある